

山行番 NO. 1658
日時 2015. 10. 03 (土) ~ 05 (月)
山域 北ア・五竜岳 (2814m) ~ 鹿島槍ヶ岳 (2842m)
参加者 後藤、浜道、掛橋 = 3名

朝焼けの鹿島槍は見事だった

3日目 = 10. 05 (月・快晴)

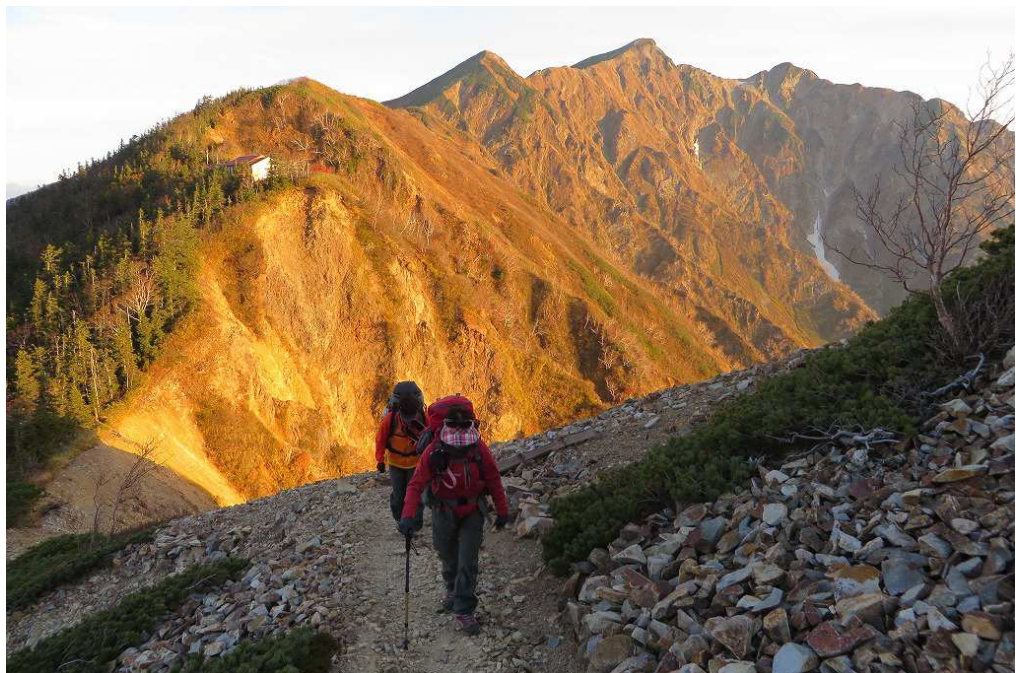
コース 起床 4 : 30 - 朝食 5 : 00 - 山荘発 6 : 08 - 赤岩尾根分岐 6 : 22 - 赤岩尾根 - 高千穂平 7 : 14 - 白樺平 6 : 50 - 赤岩尾根取り付き 8 : 25 - 大谷原 (おおやがはら) 9 : 17 - タクシー 9 : 25 - 築場駅 9 : 55 - 白馬五竜テレキャビン 10 : 30 - 大町温泉郷・薬師の湯 - 下土狩 18 : 00

標高差 上り = 冷池山荘下約 2387m ~ 赤岩尾根分岐約 2450m = 約 63m
下り = 赤岩尾根分岐約 2450m ~ 大谷原約 1100m = 1350m

個室の窓外は満天の星だった。昨夜は、奮発し個室を取った。元々、贅沢はしない私だが、この程度は、許されるでしょう。(追加料金 = 1名 1000-) 朝食は、5時からだった。山小屋は早くてイイ。民宿など、遅くて困る。美味しい朝食をいただいた。感謝です。

携帯を見たら、昨夜、1000-で充電したのも関わらず、上がっていた。今日は、途中でタクシー会社に連絡を入れるので使えないとマズい。使える携帯が3名で1台しかないなので、再び1000-で20分充電をする。

快晴の下、小屋発。赤岩尾根分岐まで緩い上り。鹿島槍が次第に大きくなる。秋独特の一面の雲海に朝焼けの鹿島槍が浮かぶ。素晴らしい大自然に痺れた。



朝焼けの鹿島槍

赤岩尾根を下る。上部は急な岩場を切り開いた、荒々しい道が続く。昔、5月に上ったが、ここは、とても悪く怖かった。上部の悪い箇所が終われば、あとは平穏な道が続く。何より、常に鹿島槍を眺めながらの下降ということなし。

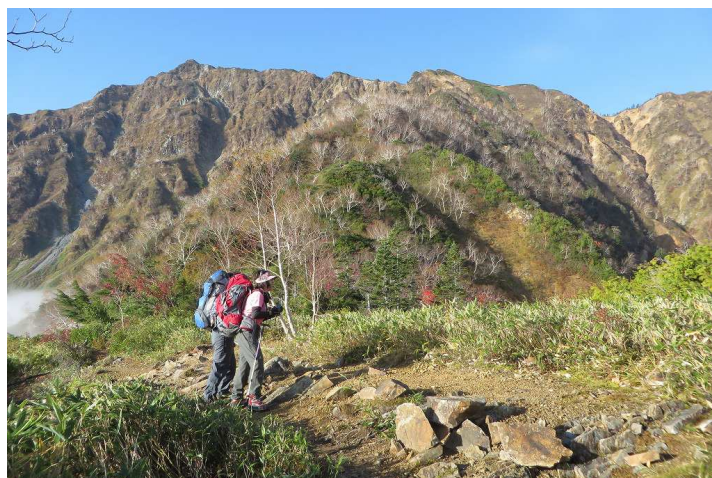
しばらく下ると白樺平。更に下ると、2049mの高千穂平。ここから雲海の中に入る。朝日が強烈だったから、涼しくて快適。



赤岩尾根上部



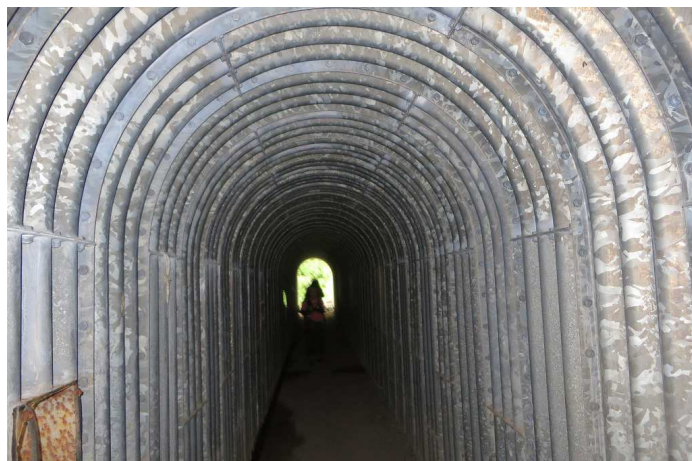
岳樺の額縁？



高千穂平



大冷沢のトンネル



下るほど、大冷沢の音が近づく。この辺りの紅葉は素晴らしかった。下からアベック（カップル）が上って来た。まだ若い方だった。聞けば、今日は途中までです、といった。鹿島槍を見に行くのだろうか。赤岩尾根往復は半端でない。ただ、登山靴は履いていたようだ。

下り切った。2時間と少しだった。大冷沢は橋でなく、トンネルで渡る。この方式は、安全でイイ。トンネルを潜ると林道に出る。大谷原までこの林道は長い。途中で単独が2名上って来た。携帯ポイントでタクシー会社に連絡。予定より早いので、すぐ来るように依頼。

大谷原手前のゲートに、県職が工事で来ていた。オジサンが、「何処から来た？」（五竜からと答えると）「元気がイイね～」と声を掛けてくれた。

ゲートの先で、鹿島川を渡ると大谷原着。タクシーはここまで来る。立派なトイレがあり、入っていると、タクシー着。大町温泉郷から来たという。ドライバーは、Nさん。話が豊富で話題は尽きない。鹿島槍スキー場を越えて、大糸線・築場駅着。ここまでタクシー料金予算は、2600-だったが、何とメーターは、ピッタリだった。



アルピコタクシー



工事関係者

計画では、築場駅から、大糸線で神城駅に行き、タクシーでテレキャビンに戻る予定だった。ところが、短時間で降りて来たため、電車の時間まで約1時間半待ち。電車の場合、神城駅からテレキャビン駐車場まで、やっぱりタクシー利用。1000-ちょっと掛かる。

しかも、呼ばなければならない。思案の末、結局、ここからテレキャビンまで、このタクシーで行くことにした。料金は、3000-程度。3名なら負担は少ない。詳細は書けないが、Nドライバーは、気を使ってくれた。イイ方だった。（結果＝2600-＋3080-）

温泉は、大町温泉郷「薬師の湯」。平日で、貸し切り状態だった。昼食持参でいただく。18時長泉着。厳しくも、充実した山だった。

参加者ひとこと

浜道 「僅かな時間で変化する山の天気には驚きました。この時期の登山は 夏冬の装備が必須であることを、身を持って知りました。美しい風景を見るには普段の鍛錬ですね」

掛橋 「五竜岳から鹿島槍への縦走に、天候があまり良くない中、挑戦してみると判断していただきありがとうございました。おかげで、いい経験になりました。感謝しています」

その他の記述（後藤）

1. タクシー会社「信州アルピコタクシー」の「アルピコ」の意味を運転手に聞いた。運転手は、「ド忘れしちゃって・・・」と言った。私は、アルプスと何かの造語では、と聞いたが、違うと言った。帰って調べてみたら、やっぱり「Alpine Corporation」・・・Alpico の造語でした。
2. 大町温泉郷で、リンゴを購入。シナノスイートと秋映。味は安い分、まあまあだった。
3. 仁科三湖は、木崎湖・中綱湖・青木湖。「仁科」という地名の語源に関しては、「仁」は赤茶けたローム土壌を、「科」は坂・段差のある地形を指すと考えられている（仁科に限らず信濃国（科野国）の北部には「科」の字が付く地名が非常に多い）……ネットから
4. 大谷原タクシー迎えは、冷池小屋で予約してくれる。予約金は1000円。これは、タクシー料金から引いてくれる。個人予約は、ドタキャン等があり、受け付けないようだ。
5. 小屋で、タクシー待ち合わせ時間を何時間にしますか??の話。
普通、大谷原まで4時間半という。いくらなんぼでも掛かり過ぎなので、「謙虚」に4時間で予約。実際は、3時間ちょっとで下山。4時間半は、オジ・オバ時間でしょうね。
6. 鹿島の冬は、1980年12月～81年1月に、爺ヶ岳東尾根から上った。厳しかったね。



赤岩尾根



剣岳遠望



信州リンゴ

ウワ～、怖わ！！
大谷原の怪獣
いや、美獣か??



雲海上を
赤岩尾根下降

おわり